

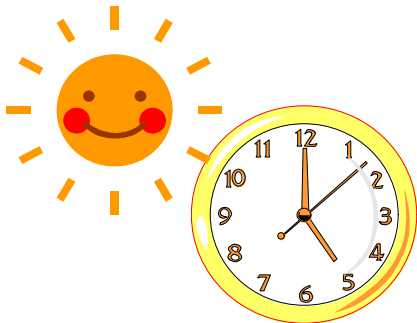
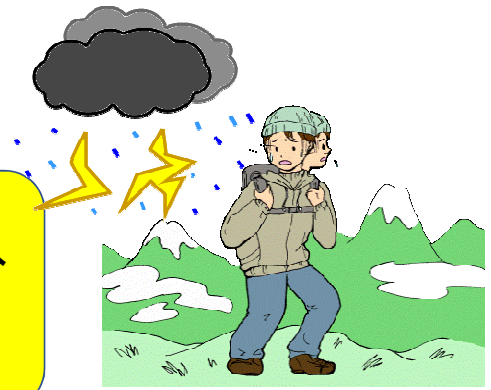
秋山登山に潜む危険

～ 秋山で遭難しないために ～

美しい紅葉を楽しめる季節となりましたが、この時期は道迷いや低体温症、装備不備等による遭難が多いため、次の点に留意して余裕のある行動に努めてください。

天候の急変

山の天気は変わりやすく、気温が低い日には雪が降ったり、濃霧等で登山道が分からなくなることがあるので、入山前には天気予報を確認しましょう。



日没が早い

秋は日増しに日没時間が早くなります。日帰り登山であっても照明器具を携行し、時間に余裕を持って行動しましょう。

気温が低い

日中は暖かくても朝晩には気温が氷点下近くまで低下することがあります。低体温症を防ぐために防寒着を携行し、防風・防寒対策を万全にしましょう。



北海道警察旭川方面本部地域課

秋山遭難防止



低体温症に注意!!

秋山（9月から10月までの間）は、天候の悪い日や朝晩には気温が氷点下になることがあり、強風下では体温が奪われるため夏山と比較すると低体温症に陥る可能性が高くなります。

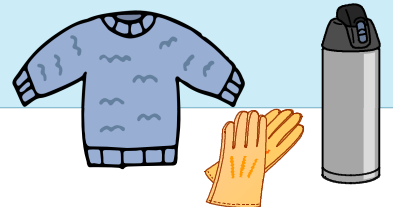
平成30年以降の秋山シーズン中に大雪山系と十勝連峰では、低体温症で死亡する遭難が合わせて3件発生しています。

秋山登山で遭難しないために



寒さに耐えられる服装と装備

- ニット帽、フリース、ダウンジャケット、保温性の高い手袋等を持つ
- 魔法瓶に暖かい飲み物を入れて持つ
- 万々に備えて、ツェルト、断熱マット等を持つ



余裕を持った行動計画

秋は日没時間が早く、暗くなってからの行動は道迷いや転倒、滑落等で遭難するリスクが高まるので、余裕を持った行動計画で入山し、日帰り登山でもヘッドランプを携帯しましょう。

